

資料編

目 次（資料編）

1. リノベーション協議会の経緯報告（本事業範囲内）

1.2. 第2回リノベーション協議会

『皆が集まる地域に開かれた学校の検討』

1.2.1. スライド提示資料

1.2.2. 委員の先生からの意見（要旨）

1.3. 第3回リノベーション協議会

『総合的な学習が行えるアクティブラーニング空間の検討』

1.3.1. スライド提示資料

1.3.2. 委員の先生からの意見（要旨）

1.4. 第4回リノベーション協議会

『第2・3回協議会を踏まえた統合案の検討』

1.4.1. スライド提示資料

1.4.2. 委員の先生からの意見（要旨）

1.5. 第5回リノベーション協議会

『最終検討会、文科省への答申案の策定』

1.5.1. スライド提示資料

1.5.2. 委員の先生からの意見（要旨）

1.5.3. 上記の意見を踏まえた、第5回協議会案の課題抽出と改善点のまとめ

1.6. 各会議出席者名簿

2. その他会議の経緯報告

2.1. リノベーション委員会×教育学部附属学校運営委員会との検討会

（東大駒場アクティブラーニングスタジオ視察）

2.2. 本郷学環コモンズ見学〈教職員7名・山内先生〉

2.3. 三者協議会「できたらいいなこんな校舎」〈生徒・保護者・教職員〉

1.2. 第2回リノベーション協議会

『皆が集まる地域に開かれた学校の検討』

1.2.1. スライド提示資料

<p>東京大学教育学部附属中等教育学校</p> <p>新しい時代の学びの整備先導的開発事業</p> <p>リノベーション協議会②</p>	<p>本日の会議内容 1/41</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 今までの経緯 今後のスケジュール (5分) 2. 計画目標の共有 (30分) 3. 計画のポイント (10分) 4. 本日の検討 (40分) 5. 次回の予定 (5分) <p style="text-align: right;">計90分</p>
--	---

<p>2/41</p> <p>1. 今までの経緯・今後のスケジュール</p>	<p>1. 今までの経緯 3/41</p> <p>【開催済(2021年)】</p> <p>7/1 : 附属校の空間UIを用いた授業ならびに図書館視察 (山内先生)</p> <p>8/31 : 第1回リノベーション協議会 学校空間の衛生環境：主として感染症対策について 塗料について (船原先生・日本ペイント) 空調について (野崎先生・ダイキン工業)</p> <p>9/8 : 本郷学環 commons 見学 (教職員7名・山内先生)</p> <p>10/21 : 3者協議会 「できたらいいこんな校舎」 (生徒・保護者・教職員)</p>
--	--

<p>1. 今後のスケジュール 4.1/41</p> <p style="text-align: center;">リノベーション協議会 計5回</p> <table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>第1回</td> <td>8 / 3 1</td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>1 2 / 2 2 (本日)</td> </tr> <tr> <td>第3回</td> <td>1 / 1 7</td> </tr> <tr> <td>第4回</td> <td>1 / 3 1</td> </tr> <tr> <td>第5回</td> <td>2 / 1 5</td> </tr> </table>	第1回	8 / 3 1	第2回	1 2 / 2 2 (本日)	第3回	1 / 1 7	第4回	1 / 3 1	第5回	2 / 1 5	<p>1. 今後のスケジュール 4.2/41</p> <p>検討テーマの切り口</p> <table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">前半</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">A. 地域×学校 人の流れ・集まりのデザイン・一足性など</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">B. 生徒×教職員 普通教室・職員スペースなど</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">C. 生徒×生徒 アクティブラーニング空間など</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: middle;">後半</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 検討案×ローリング計画 検討課題の統合、工事中の教育環境の基礎検証など </td> </tr> </table>	前半	A. 地域×学校 人の流れ・集まりのデザイン・一足性など	B. 生徒×教職員 普通教室・職員スペースなど	C. 生徒×生徒 アクティブラーニング空間など	後半	検討案×ローリング計画 検討課題の統合、工事中の教育環境の基礎検証など
第1回	8 / 3 1																
第2回	1 2 / 2 2 (本日)																
第3回	1 / 1 7																
第4回	1 / 3 1																
第5回	2 / 1 5																
前半	A. 地域×学校 人の流れ・集まりのデザイン・一足性など																
	B. 生徒×教職員 普通教室・職員スペースなど																
	C. 生徒×生徒 アクティブラーニング空間など																
後半	検討案×ローリング計画 検討課題の統合、工事中の教育環境の基礎検証など																

<p>1. 今後のスケジュール 4.3/41</p> <p>『皆が集まる地域に開かれた学校』の検討</p> <p>今回 第2回 (1/17) 計画目標・ポイントの共有 (A. 地域×学校, B. 生徒×教職員, C. 生徒×生徒) 計画の可能性A~C (A. 地域×学校, B. 生徒×教職員, C. 生徒×生徒) 基本計画案へ向けての調整</p> <p>『総合的な学習が行えるアクティブラーニング空間』の検討</p> <p>第3回 (1/17) B. 生徒×教職員 (普通教室・職員スペースなど) C. 生徒×生徒 (アクティブラーニング空間など) 基本計画案へ向けての調整</p> <p>『2回・3回を踏まえた検討案、ローリング計画への展望』</p> <p>第4回 (1/31) 検討案(複数案)×ローリング計画 検討案の議論</p> <p>『最終校討会、文科省への答申案の策定』</p> <p>第5回 (2/7) 【最終案】基本計画案×ローリング計画 【最終案】の議論・確定</p>	<p>5/41</p> <p>2. 計画目標の共有</p>
---	-------------------------------

2. 計画目標 ～目指す学校の姿 6/41

『探究的・協動的な学びを通して豊かな市民性を育む』

東京大学教育学部附属中等教育学校より

2. 計画目標 ～目指す学校の姿 7/41

『探究的・協動的な学びを通して豊かな市民性を育む』

東京大学教育学部附属中等教育学校より

2. 計画目標 ～目指す学校の姿 8/41

『探究的・協動的な学びを通して豊かな市民性を育む』

① 学びそのものの革新によりGIGAスクール構想を先導する。

② 学校の文化・芸術創造拠点化により共生社会・地域を創造する。

東京大学教育学部附属中等教育学校より

2. 計画目標 ～目指す学校の姿 9/41

『探究的・協動的な学びを通して豊かな市民性を育む』

- 「探究・協働」の活動をふんだんに取り入れる普通教室の整備
- 図書館を発展させたラーニング commons を中核に据えた探究空間に
- 「からだまるごと」で他者・世界とつながる空間UI (ユーザーインターフェイス) の導入
- 特別教室の可塑的で効果的な再配置
- 広く市民に開かれたイノベーション・commons
- 学校空間の完全バリアフリー化 (エレベータの設置他)

東京大学教育学部附属中等教育学校より

2. 計画目標 ～目指す学校の姿 10/41

第2回検討 「皆が集まる」地域に開かれた学校

A. 地域×学校

- 地域に開かれた「学校の中心」の創出
- 広く市民に開かれたイノベーション・commons
- 地域と学校をつなげる「アートエリア」

第3回検討 「総合的な学習」が行えるアクティブラーニング空間

B. 生徒×教職員

- 「探究・協働」の活動をふんだんに取り入れる普通教室の整備

C. 生徒×生徒

- 図書館を発展させたラーニング commons を中核に据えた探究空間に
- 「からだまるごと」で他者・世界とつながる空間UIの導入
- 特別教室の可塑的で効果的な再配置

2. 文科省中間報告案 11/41

2. 計画の可能性① ～普通教室を大きくする 12/41

キーワード 「探究・協働・市民性」「コの字型・4人机配置」「ICT対応」「将来対応」「ロッカー」など

2. 計画の可能性② ～回遊の形成 13/41

キーワード 「探究・協働・市民性」「回遊性」「アクティブラーニング」「commons」「廊下」など

2. 計画の可能性③ ～学校の中心の創出、全校の一体感の創出-01 14/41

キーワード 「探究・協働・市民性」「学校の中心(校舎)」「アート」「中庭」「一足制/二足制」など

2. 計画の可能性④ ～学校の中心の創出、全校の一体感の創出-02 15/41

キーワード 「探究・協働・市民性」「学校の中心(敷地)」「地域開放」「アート」「中庭」「一足制/二足制」など

2. 計画の可能性⑤ ～北中庭を登校広場に 16/41

キーワード 「探究・協働・市民性」「学校の正面」「地域に開かれた空間」「銀杏祭」「中庭」「一足制/二足制」など

2. 計画の可能性⑥ ～南中庭を挟んだアートスペース 17/41

キーワード 「探究・協働・市民性」「ACUT」「アート」「学校の中心」「体育館・校庭」「中庭」「一足制/二足制」など

2. 計画の可能性⑦ ～ラーニングコモンズを2階に。探究学習の回遊フロア 18/41

キーワード 「探究・協働・市民性」「アクティブラーニング」「コモンズ」「回遊性」「特別教室」「ローリング計画」

2. 計画の可能性⑧ ～渡り廊下の増設-01 19/41

キーワード 「探究・協働・市民性」「回遊性」「学校のまわり」「一足制/二足制」「渡り廊下」など

2. 計画の可能性⑨ ～渡り廊下の増設-02 20/41

キーワード 「探究・協働・市民性」「3棟」「防災」「移動時間」「回遊性」「学校のまわり」「渡り廊下」など

2. 計画の可能性⑩ ～中庭の上下動線。全校舎を回遊できるように。 21/41

キーワード 「探究・協働・市民性」「立体的な回遊性」「多様な表現の場」「中庭」「一足制/二足制」「外階段」

22/41

3. 計画のポイント

23/41

3. 計画のポイント(1/2) ～ 原則変えられない設計条件

文部科学省評価 S から外れない設定 (申請内容に沿った計画)

- ①. **増築不可**
※バリアフリー-EVのみ可
- ②. **区切りの良い工事計画**
※2カ年×2
- ③. **仮設校舎の建設は困難**

※ただしこれらを考慮しすぎると議論が小さくなってしまいますので願の片隅においていただければと思います。

24/41

3. 計画のポイント(2/2) ～ 検討・議論が必要と考える項目

第2回検討 「皆が集まる」地域に開かれた学校

A. 地域×学校 : 人の流れ・集まりのデザイン、一足制など

第3回検討 「総合的な学習」が行えるアクティブラーニング空間

B. 生徒×教職員 : 普通教室・職員スペースなど

C. 生徒×生徒 : アクティブラーニング空間など

25/41

4. 本日の検討

25/41

4. 本日の検討

A. 地域×学校

「皆が集まる」地域に開かれた学校

- 人の流れ・集まりのデザイン
～ 生徒の動き、教職員の動き、地域との接点
- 中庭を活かすには
～ 上下足の考え方・地域との接点

26/41

4. 人の流れ・集まりのデザイン

この案をさらに膨らませる

27/41

4. 人の流れ・集まりのデザイン

- 目標
「ACUT」の一翼として、今まで以上に「広く市民に開かれた附属校」としてデザインする。
- 現状
「アート・クロスロードプロジェクト」など、生徒とアーティストをつなぐワークショップ・講演会を開催しており、その一部は他校の生徒にも開放されている。

28/41

4. 人の流れ・集まりのデザイン

生徒の動き・教職員の動き・地域との接点の創出には？

校舎のデザイン 敷地のデザイン

4. 人の流れ・集まりのデザイン 29/41

生徒の動き・教職員の動き・地域との接点の創出には？

校舎棟内 全ての棟をつなぐ 校舎棟と体育館棟をつなぐ

4. 人の流れ・集まりのデザイン 30/41

附属校らしい「人の動き」を生み出すには？
「一足制/二足制」の可能性？

校舎の中心へアプローチしやすい 体育館・校庭側から直接出入りできる 屋外階段を併設した立体的な回遊

外部と内部をつなぐ建築イメージ
制作：アール・エス・建築デザイン

4. 人の流れ・集まりのデザイン 31/41

中庭を活かすには？

A棟⇄C棟をつなぐ
内外の活動の可能性

4. 人の流れ・集まりのデザイン 32/41

中庭を活かすには？

A棟⇄C棟をつなぐ
内外の活動の可能性

4. 人の流れ・集まりのデザイン 33/41

皆が集まる学校には？

4. 人の流れ・集まりのデザイン 34/41

皆が集まる学校には？

A棟⇄C棟をつなぐ
内外の活動の可能性

4. 人の流れ・集まりのデザイン 35/41

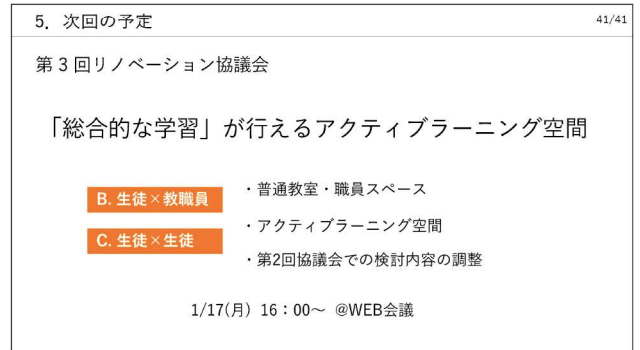
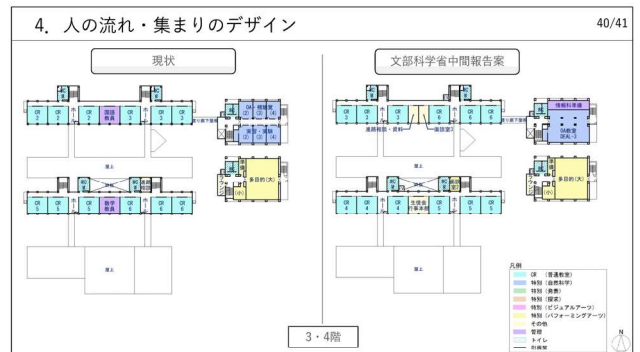
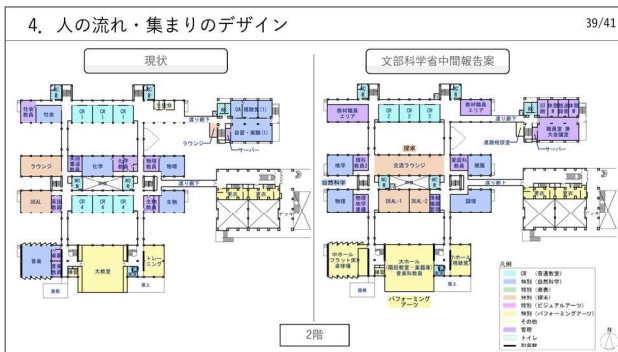
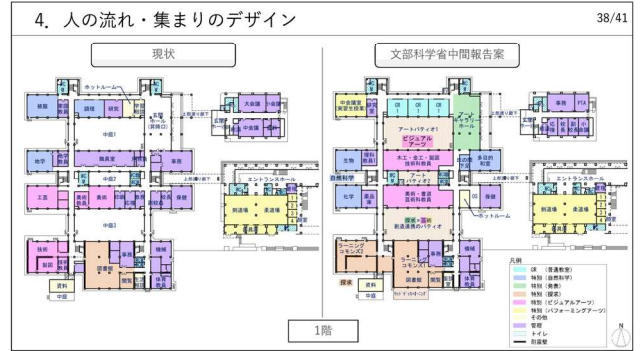
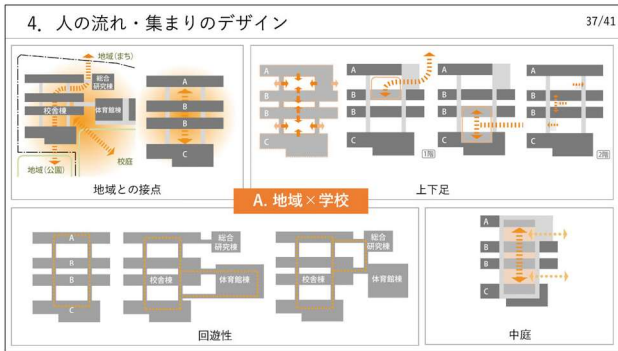
■一足制 メリット

- 中庭・校庭をつなぐ連続的な内外学習
昇降口に限定されずに、外部から出入りできる。学習活動を途切れさせることなく、内外を移動可能。
- 移動時間の短縮
上下足の履き替え時がなくなり、円滑な授業進行が可能。
- スペースの有効活用
昇降口における、靴箱スペースが不要。
- 地域開放での自由度とセキュリティの確保
動線の制限が無い各教室への直接の出入りなど、一体的な活用が可能。エリアを限定した、部分的な地域開放が容易。

4. 人の流れ・集まりのデザイン 36/41

■一足性 デメリット

- 床での学習
衛生面で床を使った活動(習字など)の問題。
- 運動専用性
体育施設以外で運動を行う場合の靴の問題。
- 清掃
雨天時は床マットを利用する等、床の水濡れへの対応の問題。校庭のゴムチップを持ち込む問題。
- 雨天時の衛生
雨天時に濡れた靴を一日中履く、衛生上の問題。
- 施設・防犯
屋外の接点が多くなる、施設・防犯面の対応の問題。



1.2.2. 委員の先生からの意見（要旨）

新しい時代の学びの環境整備先導的開発事業

東京大学教育学部附属中等教育学校～「新しい時代の学びの環境整備」に向けた本校舎大規模改修

第2回リノベーション協議会 参加委員の先生方の発言記録（要旨）

令和3年12月22日 16:00～17:30

WEB会議にて

東畑建築事務所よりスライドにて基本的な説明を行った後、各委員の先生方からの意見をいただいた。

■長澤先生

- ・時間、ゾーニングでの切り替え + デジタルの力でモードチェンジ（チームラボ）
- ・附属学校において、地域と協働というコンセプトはチャレンジング
- ・「回遊性」などの空間の特徴と「附属での学び」との関連付けはどうかしている？
- ・履き替えは多様な解がありうる。

エントランスで拭う～ロッカーで履き替え。1足性、2足性 → 1.5足性

- ・「コモンズ」～これからの学校をイメージさせる言葉

学年コモンズ、教室コモンズ、25人等のファミリーが集散できるサブフレーム⇔大広間

■千葉先生

- ・ガラス張りの準備室で興味喚起
- ・限られた床面積内でのフレキシビリティ。日中の教室をフレキシブルに使うこと
- ・通路⇔教室という区分がはっきりしすぎている

→ 縦2本の廊下やいろいろな場所を、別用途にも拡張

■山内先生

- ・2階フロアに集約したラーニングコモンズの可能性。セキュリティ設定。
- ・学環コモンズで当初オープンな運営をしていたが、心無い方が入ってきて、その環境を壊された。
- ・セキュリティは重要。以降カードキーなどで、安全性を確保して運営。

■小国先生

- ・今後の地域と学校の関係性を考える新しいセキュリティのあり方 → 市民との協働へ
- ・テクノロジーを活かす

■協原先生

- ・広い空間による換気計画
- ・ニューノーマル

- ・カーボンニュートラル、ゼロカーボンキャンパス
- ・産学連携

■岡田先生

- ・一足制における大学の校舎と中高の校舎の違い

■藤江先生

- ・セキュリティ。安心して学べる
- ・生徒側の組織 ～ クラスの概念、カリキュラムとの連動、教科教室型などへの視座

□南沢先生

- ・普通教室は結構空いている印象

□阿部先生

- ・技術室廻りのは道具が多く、回遊性のルート上にあると危ない可能性がある。

以 上